

議事概要		日時	令和7年2月7日（金）
件名	第1回 牛久シャトー株式会社事業再生計画策定のための有識者会議	場所 時間	ひたち野リフレビル会議室 10:30~12:00
作成年月日	令和7年2月7日	作成者	
出席者	出席委員 大澤義明委員（座長）、鷹羽伸一委員、堀 賢介委員、渡辺一洋委員、和田卓也委員（順不同・敬称略） ※大久保 伸隆委員は欠席 ※議事審議に先立ち大澤義明委員を座長に選出 市出席者 二野屏環境経済部長、藤木環境経済部次長、椎名未来創造課長、木本未来創造課文化財・シャトー活用推進室長ほか		
	議事内容	(1) 牛久シャトー株式会社の現状と課題について (2) 経営状況及び経営方針に係るヒアリング (3) 今後の議論の論点について (4) その他	
会 議 内 容 等			
<p>(1)牛久シャトー株式会社の現状と課題について 資料に沿って事務局より説明（①牛久シャトー(株)の概要 ②経緯 ③現状 ④市における支援の状況） 【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久シャトー（株）の決算状況を見ると、改善策は、小手先の改善策では不十分、外科的手術のような抜本的な改革が必要であり、ある程度の期間も要するものであると思う。 現在の決算状況では、債務免除等を含めて考えていく必要がある。単純に経営改善だけでは難しい状況であり、こうした点からも長期的に考えていく必要があるのではないかと。 <p>(2)経営状況及び経営方針に係るヒアリング 牛久シャトー(株)役員より経営状況及び経営方針にかかる説明：質疑応答 【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の業務の枠組みは、設立時に市が市民からの存続要望を受け、従前どおりの内容を行いたいとの意向があったことから、出来上がったもの。 賃料の負担は事業規模に比べて過大と感じている。また文化財である施設の管理コストが大きい。 これまでレストラン・売店部門・バーベキュー部門などで人員の抑制などコスト抑制に努めてきた。 醸造部門は現在の設備では製造本数が少なく、収益を上げるためには製造数量の増加が課題。 今後、市への要望等も行いながら、売り上げを増加させ経営改善に取り組んでいきたい。 <p>【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初の計画に基づき事業を行ってきたとのことだが、当初の計画に無理があったのではないかと。当初の計画の検証が必要ではないかと。 経営を評価するためには、各部門別の収支が必要。次回には詳しい収支がわかる資料を提出願いたい。 醸造事業での収益について、他の醸造事業者等の状況なども含め調査する必要があるのではないかと。 <p>(3)今後の議論の論点について 資料に沿って事務局より論点を提示（事業スキーム、牛久シャトーの位置づけ、賃料の見直し） 【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所有企業とも意思疎通を図りながら検討を進める必要があるのではないかと。 ワイン製造については、販売量を増やしていく方策が必要。販路の点でも様々なネットワークを活用して拡大していくことが必要ではないかと。 家賃は免除するという方向性が考えられるが、それだけではなく、営利施設分の収益改善をどうするかということを考えていく必要があるのではないかと。当初から今の賃料は無理があったのではないかと。 経営改善を行うには部門別損益が必要である。品ぞろえデータを見て見直しを検討することも必要。 地ビール業界等で黒字化を進めている事業者の中には、自社施設での消費や、体験サービスを提供し、収益につなげている例もある。観光面を事業に取り入れることは有益なのではないかと。 ワインについては付加価値を付け、より高額なものとするのか、または、OEM 等も含めある程度安く量を増やしていくのかという点も考えていく必要がある。 <p>(4)その他 今後のスケジュールについて説明</p>			